



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	『北の言語：類型と歴史』34年後の概観：北東アジア
Author(s)	風間, 伸次郎
Description	特別企画：追悼 宮岡伯人先生
Citation	北方言語研究, 16, 7-24
Issue Date	2026-03-20
DOI	https://doi.org/10.14943/2115.99328
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/99328
Type	departmental bulletin paper
File Information	02_Kazama.pdf



【特別企画：追悼 宮岡伯人先生】

『北の言語：類型と歴史』34年後の概観 —北東アジア—

風間 伸次郎

(東京外国語大学)

キーワード：北東アジア、記述、類型、歴史

0. はじめに

本稿では、『北方言語研究』(NLS)、『環北太平洋の言語』(LNPR)、『言語研究』(JLSJ)、『東京大学言語学論集』(TULIP)、『「環太平洋の言語」成果報告書』(ELPR)、『北方人文研究』(JCNH)、Materials of Siberian Languages (MSL)、『アジア・アフリカの言語と言語学』(AALL)、ツングース言語文化論集 (PTLC)、アルタイ言語文化論集 (PALC)、Contribution to the Studies of Eurasian Languages Series (CSEL)、『思言』(SHIGEN) に掲載された論文を中心に、単行本についても配慮しつつ、30 年を振り返ることとする（文献欄ではカッコ内の略号を用いる、CSEL については論集でないもののみ取り上げた）。『千葉大学 ユーラシア言語文化論集』や『ALTAI HAKPO』、『北海道立北方民族博物館研究紀要』、『現代中国における言語政策と言語継承』、『北東アジア諸言語の記述と対照』、『アイヌ・先住民研究』、*Linguistic Typology of the North*、『語学研究所論集』、『東北アジア研究センター叢書』、京大や九大、東外大の論集についても整理すべきだったが、一部を除いて扱い切れなかった。単行本でも『アイヌ語の集い』、『アイヌ研究の現在と未来』、『知里真志保 人と学問』、『アイヌ語研究の諸問題』、『サハリンの言語世界』、*Handbook of the Ainu Language*、『シベリア先住民の食卓』、『トルコ語とチュルク諸語の研究と日本語の対照』、『チュルク諸語研究のスコップ』、『有対動詞の通言語的研究』を整理できなかった。なおいわゆる語学学習書のジャンルに入るものは取り上げなかった。対象言語はアイヌ語、ニブフ語、ユカギール語、チュクチ・カムチャツカ諸語（イテリメン語を含む）、アルタイ諸言語とし、おおよそこの順で紹介する（ウラル諸語は扱えなかった）。言語名を示す際には ISO639-3 のローマ字 3 文字の言語コードも用いる（下記、なお言語名のない論考は多くの言語を対象としたものである）。日本を根拠地として研究活動を行っている研究者、つまりは主に日本人の研究を対象とする。欧米の研究者による欧文の研究を取り上げないわけだが、日本での研究にその趨勢はある程度反映されている面があると考えたい。もとより難題であり、一研究者からみた偏りの大きな叩き台に過ぎないことをことわっておく。節・下位節への諸論考の分類も一つの目安と考えていただきたい。本来なら、各分野の論考とその分布の分析・吟味、それを踏まえた今後の研究の展開の方向性や必要性について論ずるべきであろうが、時間と紙幅の余裕はなく、また筆者の力量をはるかに超える業である。今後の各専門家の補説・再説を俟つ。

言語名略号一覧

アイヌ(ain)、アゼルバイジャン(aze)、アリュートル(alr)、アルタイ(alt)、イテリメン(itl)、ウ

イグル(oui), ウイルタ(oaa), ウズベク(uzb), ウデヘ(ude), ウルチャ(ulc), エウエン(eve), エウエンキー(evn), オロチ(oac), ガガウズ(gag), カラチャイ(krc), 契丹(zkt), キルギス(kir), コリマユカギール(yux), コリヤーク(kpy), サハ(sah), サラール(slr), シベ(sjo), 新ウイグル(uig), タタール(tat), 中世モンゴル語(xng), チュヴァシユ(chv), チュクチ(ckt), トゥバ(tyv), ドウンシャン(sce), ドルガン(dlg), トルコ(tur), ニブフ(niv), 満洲(mnc), モンゴル語諸方言(mvf), 土族語(mjg), ナーナイ(gld), ネギダール(neg), (中国の) ブリヤート(bxu), ボウナン(peh), モンゴル(khk)

ただしソロン(sln), ヘジエ(hzh), ダグール(dgr) は ISO639-3 に見つけられなかったため、筆者がこのように指定した。チュクチ・カムチャツカ諸語<ChKa>, チュルク諸語<Turk>, モンゴル諸語<Mong>, ツングース諸語<Tung>, アルタイ諸言語<Altai>も別に指定した。

1. 共時論

1. 記述文法・文法スケッチ: ain ブガエワ (2004), 佐藤 (ed.) (2002), 佐藤 (2008b), yux 遠藤 (2005), 長崎 (2009), itl 小野智 (2021), sah 江畑 (2020b), sln 白 (2023d), ude 風間 (2022d), oac 風間 (2023c), gld 風間 (2023b), ulc 風間 (2023d), oaa 山田祥 (2013), 津曲・山田 (2023)

2. テキスト・例文集

2.1. テキスト: ain 浅井 (2001), ブガエワ・佐藤 (2021), 加藤 (2004), 村崎 (2001a, 2001c), 奥田 (2003), 阪口 (2019a, 2019b), 白石 (2004), 高橋 (2007), 田村 (ed.) (2001, 2002, 2003a), niv 蔡 (2013), 白石 (2002, 2003b, 2005), yux 長崎 (2005, 2011, 2015c, 2023a), kpy 呉人恵 (ed.) (2001c, 2002), 永山 (2003, 2007), alr 永山 (2005, 2010, 2015b, 2020), 永山他 (編著) (2024a, 2024b), 永山他 (2017, 2019), itl 小野智 (2005, 2010, 2020), chv 風間・菱山 (2020), tyv 風間 (2016b), SYURYUN・児倉 (2022a, b), khk 風間 (2024), mvf 山越 (2007b, 2015), bxu 山越 (2002, 2006, 2012a, 2014b, 2016, 2022, 2024, 2025), dgr 風間・山田 (2020), sce 外賀 (2018), mjg 文花他 (2026), eve 風間 (2000a, 2003c, 2009c-d, 2013c, 2015a, 2016a, 2018c, 2020b), evk 山田祥 (2023), neg 風間 (2002d), sln 風間 (2007e, 2008c, 2018b, 2020c, 2022c) 風間・トヤー (2007, 2008), 風間・バイカル (2023, 2024, 2025, 2026), ude 風間 (2004b-c, 2006b, 2007c, 2008d, 2009b, 2010a), 津曲 (2001b, 2002a, 2002b, 2002c, 2003a, 2004, 2005, 2006a, 2006b, 2007, 2009, 2010a, 2010b, 2011, 2013, 2015, 2016a, 2016b), oac 風間, (1996a), hzh 李 (2011, 2012, 2015a, 2015b, 2016, 2018, 2019, 2023), gld 風間 (1993, '95, 96b, 97a, 98a, 2000b, 2001a, 2001c, 2002c, 2002e, 2005b, 2006c, 2006d, 2007d, 2008b, 2010b, 2012a, 2012b, 2013d, 2015c, 2021b), ulc 風間 (1996c, 2002b, 2006a, 2008e, 2010c), oaa 池上 (2002a, b, 2007), 風間 (2012c), 森貝 (2016a), 津曲 (2010d), 山田祥 (2011, 2012a, 2012b, 2014, 2015, 2016a, 2016b), sjo 邨 (2014), 児倉 (2021, 2022) dlg BARBOLINA and 藤代 (eds.) (2001)

2.2. 例文集: mvf ホリロ (2023), mjg 風間・山田 (2026), sln 白 (2023a, 2023c)

3. 語彙集／辞書・個別語彙の意味論

3.1. 語彙集: ain 加藤 (2003), niv 白石・丹菊 (2013, 2014, 2015), 丹菊 (2008, 2013), 高橋

(2008), yux 遠藤 (1997a, 2001a), 長崎 (2004), itl 小野智 (2002, 2003b), kir 鍛治・アクマタリエワ・林 (eds.) (2015), Mong 山越 (2003c), mvf 山越 (2021), Tung 風間 (2003b), sln 風間・トヤー (2011), sjo 久保 (ed.) (2008), mnc 風間 (2008a)

3.2. 個別語彙・文化語彙: niv 丹菊 (2002), kpy 呉人恵 (2004, 2009), alr 永山 (2014a), eve 鍛治 (2008), mnc 早田清 (2008), ckt-evn-evk-oaa 津曲 (2010c)

4. 現地調査報告や回顧・展望、文献リスト: ain 村崎 (2001b), 中川 (1995), 佐藤 (2012a, 2012b), 田村 (2003b), ckt-kpy 呉人徳・呉人恵 (2014), kpy 呉人恵 (2003c), krc 菅沼 (2024), Tung 津曲 (1996), mnc 津曲 (2012), 津曲 (編著) (2003b), 白石, et al. (2007)

5. 個別言語の音声・音韻論に関する記述研究

5.1. 音韻論全般: kpy 呉人恵 (2003b), bxu 山越 (2003a)／5.2. 子音: itl 小野智 (2004), niv 白石 (2010), kir 菅沼・AKMATALIEVA (2022), khk 植田 (2020, 2022), mvf 外賀 (2021), bxu 山越 (2003a), gld 池上 (1997), 風間 (2010d), mnc 早田清 (2018), 王 (2021b)／5.3. 母音 (調和): khk 植田 (2021), eve 鍛治 (2019), mnc 王 (2011)／5.4. アクセント・有音休止: tur 福盛貴弘 (2010), mnc 王 (2021a), sjo 木村 (2002), 王 (2022), ain 佐藤 (2001)

6. 個別言語の形態論に関する記述研究

6.1. 形態音韻論: niv 白石 (2013), chv 菱山 (2022), kir 菅沼 (2023), sah 江畑 (2005), eve 鍛治 (2012a), khk 山田洋 (2021)／6.2. 付属語: yux 長崎 (2007), sah 江畑 (2007), bxu-Mong 山越 (2004, 2007a), mnc 津曲 (2006c)／6.3. 屈折: hzh 李 (2014), oaa 池上 (2001)／6.4. 派生: ckt 呉人徳 (2001b), itl 小野智 (2006), ude 白 (2013a)／6.5. 名詞化: niv 蔡 (2014a), kpy 呉人恵 (2011a), khk 梅谷 (2019b)／6.6. 複合 (含抱合): ain 切替 (2017), 佐藤 (2008a), yux 遠藤 (2010), 呉人恵 (2015)／6.7. 重複: tur 鈴木 (2025), khk 久保 (1997)／6.8. 統合度: kpy 呉人恵 (2020)／6.9. 品詞分類: bxu 山越 (2008), eve 鍛治 (2023)／6.10. 品詞転換: ain 佐藤 (2020)／6.11. (助) 数詞: ain 落合 (2021, 2023), 阪口 (2022)／6.12. 助数詞: sjo 木村 (2003)

7. 個別言語の統語論・文法カテゴリーに関する記述研究

7.1. 一致: sah 江畑 (2013a)／7.2. 数: ain 中川 (2010), 阪口 (2020b), niv 蔡 (2014b), 丹菊 (2012), sah 江畑 (2004), 江畑 (2017a), khk 山越 (2003b), gld 風間 (2007a), sjo 木村 (2001)／7.3. 指小辞・指大辞: kpy 呉人恵 (2000), evn 渋谷 (2016)／7.4. 格／名詞項: yux 長崎 (2014b, 2016), kpy 呉人恵 (2013a, 2014a, 2019), alr 永山 (2014b), khk 青木 (2025), mns 山崎 (2018, 2019, 2020), sln バイカル (2025), sjo 木村 (2004), Tung 風間 (1997b, 2003a)／7.5. DOM: tur 橋本直 (2016), sah-tur-tyv 江畑 (2014a), xng 栗林均 (2002), mnc 早田清 (2015), sjo 木村 (2004)／7.6. 所有 (PROP): alr 永山 (2002, 2004), uig 新田 (2015), sah 江畑 (2012a), khk 梅谷 (2012), eve 鍛治 (2012b)／7.7. 人称 (代名詞): ain 中川 (2011), 阪口 (2020a), 山田洋 (2007), itl 小野智 (2011), tat 菱山 (2018, 2020b), khk チュルーンバートル (2007), エンファムガラシ (2025), bxu 山越 (2011), sjo 木村 (2005), mnc 早田清 (2012)／

7.8. 除外／包括: ain 高橋 (2015), mnc 早田輝 (2004), 津曲 (2001a) / 7.9. 場所表現: ain 切替 (2007), 佐藤 (2021), khk バスバヤル (2025) / 7.10. 抱合: ckt 吳人徳 (1998), kpy 吳人恵 (2001a, 2001b) / 7.11. 動詞複合体: dgr 山田洋 (2011) / 7.12. 自他・他動性: ain 佐藤 (2023), niv 白石 (2003a), yux 長崎 (2003), ckt 吳人徳 (1997), kpy 吳人恵 (2013b), itl 小野智 (2003a), tur 栗林裕 (2013), 岡田 (2016), gag 鈴木 (2020) / 7.13. 態: ckt 吳人徳 (2009), Turk-Mong 大崎 (2006), sah 江畑 (2016), khk 梅谷 (2008) / 7.14. 受身／非人称: tur 林 (2016a, 2024), oaa 池上 (2003), gld 風間 (2009a) 7.15. 使役: ain ブガエワ (2014), 高橋 (2017), ckt 吳人徳 (2019), sah 江畑 (2013b), Tung 風間 (2002a), mnc 王 (2012) / 7.16. 再帰 (・共同): ain ブガエワ (2003), tyv 江畑 (2018) 相互 khk エンフアムガラシ (2020) / 7.17. アスペクト: ain 高橋 (2006), 吉川 (2020), tur 鈴木 (2021), hzh 李 (2020), oaa 山田祥 (2010a), sjo 児倉 (2012) / 7.18. テンス: yux 長崎 (2022), uzb 羽生田 (2017), khk 橋本邦 (1993), bxu 山越 (2017), 伶 (2015) / 7.19. モダリティ: uzb 日高 (2023), sah 江畑 (2013d), khk ジンガン (2007a, b), ナムダグ (2020), dgr 山田洋 (2017), gld 風間 (2007b), sjo 児倉 (2010, 2018, 2019b) / 7.20. 証拠性: ain 高橋 (2013), tyv 江畑 (2019b), gld 風間 (2005a) 7.21. 否定表現: ain 高橋 (2016), yux 長崎 (2015a), ckt 吳人徳 (2001a), alr 永山 (2015a), itl 小野智 (2015), chv 菱山 (2023), sah 江畑 (2015), khk 梅谷 (2004), 山田洋 (2015) / 7.22. 定動詞性／叙述: kpy 吳人恵 (2010a, 2010b), sjo 児倉 (2019a) / 7.23. (補) 助動詞・複合動詞: ain 岸本 (2016), 馬 (2021), tur 橋本直 (2019), 栗林裕 (2006), kir-alt アクマタリエワ (2014, 2021, 2022, 2023), uzb ファイズエワ (2022), 日高 (2010, 2013a), khk 斯欽格日樂 (2008, 2014), 山越 (2001), sln バイカル (2022), sjo 児倉 (2009) / 7.24. コピュラ: kpy 吳人恵 (2018) / 7.25. 準動詞／名詞化／形動詞 (形)／分詞／不定詞: ain 高橋 (2014, 2018), yux 遠藤 (1997b), 長崎 (2010, 2013a, 2014a, 2021), kpy 吳人恵 (2014b, 2021), alr 永山 (2012b), itl 小野智香子 (2007, 2013), chv 菱山 (2021), aze 吉村 (2020), uzb 日高 (2014), khk 山田洋 (2014), bxu 山越 (2012b, 2013), oaa 森貝 (2015, 2016b) / 7.26. 関係節化／連体修飾節: ain ブガエワ (2015), kpy 吳人恵 (2008, 2017a, 2017b), uzb 日高 (2018), sjo 児倉 (2013) / 7.27. 副動詞 (形／節): niv 蔡 (2012), kpy 吳人恵 (2012b, 2016b, 2023), tur 林 (2019), uzb 日高 (2013b, 2025), 内藤 (2019), khk ナムダグ (2022, 2025), 梅谷 (2017, 2019a), 山田洋 (2019), mvf ホリロ (2019, 2022) / 7.28. 指示転換: yux 遠藤 (2001b) / 7.29. 条件表現: uzb 日高 (2017), gld 風間 (2011) / 7.30. 移動表現／ダイクシス: uig 西岡 (2003), khk ツェレンダブガ (2015) / 7.31. 所有／存在表現: ain 喜多 (2020), yux 長崎 (2012), kpy 吳人恵 (2003a), alr 永山 (2012a), chv 菱山 (2020a), tat 菱山 (2019), slr 原 (2019), khk バスバヤル (2022), Tung 風間 (2001b), mnc 早田清 (2009) / 7.32. 引用表現: ain ブガエワ (2008), yux 遠藤 (2017) / 7.33. 接続表現: khk ジンガン (2014) / 7.34. 指示 (詞): ain 高橋 (2011), niv 蔡 (2018), tur 林 (2008, 2009, 2012, 2016b) / 7.35. 情報構造: yux 長崎 (2018), khk 娜仁托娅 (2011), 那日蘇 (2021), mvf ホリロ (2021), peh アルラ (2023), oaa 山田祥 (2007)

8. 言語類型論的観点からの音声・音韻論に関する研究: 松本 (1998)

9. 言語類型論的観点からの形態論に関する研究

9.1. 類型論一般: 風間(2014b) / 9.2. 統合度: 江畑 (2020a), Tung 風間 (2010e) / 9.3. 数詞: 長崎 (2023b)

10. (地域) 言語類型論的観点からの統語論・文法カテゴリーに関する研究

10.1. 方法論: 小野洋 (2020a) / 10.2. 格(含場所表現): 風間 (2019b) / 10.3. DOM: 江畑 (2014b) / 10.4. 再帰代名詞: 風間 (2018a) / 10.5. 並列構造: ain-niv-oaa 津曲 (1997) / 10.6. 動詞屈折: 江畑 (2013c) / 10.7. 否定: 長崎 (2015b) / 10.8. 所有 (PROP): 江畑 (2012b) / 10.9. 準動詞/形動詞(形)/分詞: 長崎 (2013b) / 10.10. 他動性/感情表現: 風間(2013a) / 10.11. 無生物主語: 風間 (2016c) / 10.12. テンス: 風間 (2013b) / 10.13. 所有構造: Mong-Tung 山越 (2010) / 10.14. 関係節/連体修飾節: 風間 (2017a, 2019a) / 10.15. 副動詞(形/節) / いいさし: 風間 (2012d, 2014a, 2017b)

11. 通時論

11. 文献言語による研究

ain 佐藤 (2017), 佐藤・ブガエワ (2019), 佐藤・ブガエワ (2022), kpy 呉人恵 (2016a), ChKa 永山 (2006), oui 庄垣内 (2003), 菅原 (2007, 2008), sah 江畑 (2014c), dlq 藤代 (1997), zkt 大竹 (2015, 2024), 武内 (2016), oaa 津曲 (2014a, b)

12. (語族内外の) 比較言語学・言語系統論に関する研究

ain 切替 (2006), 小野洋 (2017, 2019, 2020b, 2022), 小野・深澤 (2023), 阪口 (2021), ChKa 呉人恵 (ed.) (2001d), 呉人恵 (2012a), kpy 呉人恵 (2005), Mong 山越 (2014a), Tung 池上 (1995), 風間 (1996d, 1998b, 2004a, 2010f), oaa 山田祥 (2017), mnc 王 (2020a, 2020b)

13. (語族内の) 対照・言語接触(借用等を含む)に関する研究

13.1. 全般: Turk 栗林裕 (2009) / 13.2. 形態音韻論: Turk 江畑 (2022) / 13.3. 数: sah-tyv 江畑 (2017b), 江畑 (2019a) / 13.4. 指小辞: Tung 白 (2017) / 13.5. 除外/包括: Tung 白 (2013b) / 13.6. アスペクト: Tung 白 (2019), テンス Tung 白 (2022) / 13.7. 定動詞(形)・数: Tung 白 (2016) / 13.8. 副動詞(形): Tung 白 (2014), 目的形 Tung 白 (2023b) / 13.9. 補助動詞: Tung 白 (2018) / 13.10. 条件表現: Tung 白 (2015) / 13.11. 相関構文: ude Tung 白 (2011, 2012) / 13.12. 言語接触一般: ckt 呉人徳 (2005), Tung-yux 白 (2020), ain-oaa-niv 白 (2021), bxu 山越 (2005a), ude-zho 敖特根其其格 (2005), ain-Tung 池上 (2005), Tung-dgr 風間 (2015b), evk-oaa 山田祥 (2010b)

14. おわりに

「少年老い易く学成り難し」、「光陰矢の如し」、Art is long, life is short. などと言われるが、『北の言語 類型と歴史』(1992) より34年、自分を含め非力な者たちに時の流れの容赦ないことを感ずるばかりである。立ち向かう術はただ、一つ一つ継続し、挑戦することのみであろう。非力なりにテキストの刊行などを継続することはできる。論考は二番煎じ

の末に行き詰っては致し方なく、未踏の分野、未踏の文法カテゴリー、未踏の研究手法、ひいては未踏の言語に挑戦することで次の記述研究を展開し、複眼的な視野を得た上で類型・歴史研究に挑んで行かねばならない。道を拓いて下さった池上先生、宮岡先生、金子先生に感謝したい。今後の北の言語の記述・類型・歴史研究の発展を祈念してこの小整理を閉じたい。

文献一覧（なお同じ年号における abc は便宜上本文中の出現順序ではなく、一覧の中でつけたものである、なお英文の論文には日本語訳で挙げた形になっているものがある点にも留意されたい）

- アクマタカエワ ジャクシルク (2014)『キルギス語の〈持続〉を表わす補助動詞 —jat-, tur-, otur-, ju ウムラウト r-を中心に—』東外大提出の博士論文
- アクマタリエワ ジャクシルク (2021)「キルギス語とアルタイ語の補助動詞 iy-/jiber-の出現についての調査と考察」 NLS 11.
- アクマタリエワ ジャクシルク (2022)「キルギス語とアルタイ語の補助動詞 čik-「出る」の対照研究」 NLS 12.
- アクマタリエワ ジャクシルク (2023)「キルギス語の動詞 jaa-「降る」に後続する補助動詞—21 種類の補助動詞の文法的な意味と特徴—」 NLS 13.
- 青木隆浩 (2025)「モンゴル語において授与物を道具格で表す動詞」 SHIGEN 20.
- 浅井タケ (2001)『改訂浅井タケ昔話全集』(村崎恭子 編訳) ELPR A2-010.
- アルラ (2023)「情報構造から見た大塚保安語の gi」 NLS 13.
- 白尚燁 (2011)「ウデヘ語の疑問詞による相関構文」 NLS 1.
- 白尚燁 (2012)「ツングース諸語の WH 相関構文の分布に対する類型の考察」 NLS 2.
- 白尚燁 (2013a)「ウデヘ語動詞接辞-du の用法—動詞派生接辞の人称標示機能—」 NLS 3.
- 白尚燁 (2013b)「ツングース諸語包括形の形態構造に関する考察」 JCNH 6.
- 白尚燁 (2014)「ツングース諸語における副動詞語尾-mi の相違について」 NLS 4.
- 白尚燁 (2015)「ツングース諸語における条件文の相違について」 NLS 5.
- 白尚燁 (2016)「地域類型論的観点から見たツングース諸語の定動詞における 3 人称標示—数の対立を中心に—」 NLS 6.
- 白尚燁 (2017)「指小辞の意味機能における普遍構造から見たツングース諸語の接辞*-jukan」 JCNH 10.
- 白尚燁 (2018)「地域言語学的観点から見たツングース諸語の補助動詞」 NLS 8.
- 白尚燁 (2019) Continuous Aspects in Tungusic from the Perspective of Areal Linguistics: Progressive vs. Resultative AALL 13.
- 白尚燁 (2020)「北ツングース諸語とコリマ・ユカギール語における文法的類似性について」 NLS 10.
- 白尚燁 (2021)「地域類型論的観点から見たサハリン地域に分布するウイльта語、アイヌ語、ニヴフ語の定動詞における 3 人称標示と複数接辞の文法的類似性について」 NLS 11.
- 白尚燁 (2022)「地域言語学的観点から見たツングース諸語の定動詞直説法の時制体系」 NLS 12.
- 白尚燁 (2023a) A Collection of Solon Sentences for Grammatical Analysis NLS 特別号.
- 白尚燁 (2023b)「ツングース諸語の地理的分布による目的形式とその用法の相違」 NLS 13.
- 白尚燁 (2023c)「文法調査質問紙に基づくソロン語例文」 NLS 特別号.
- 白尚燁 (2023d) Solon. In *The Tungusic Languages* 206-233. Routledge.
- バイカル (2022)「ソロン語の補助動詞構造について」 SHIGEN 18.
- バイカル (2025)「ソロン語の輦格接辞 -dUxI の機能について」 SHIGEN 20.
- 包聯群 (2023)『満洲の民話と伝説』三元社
- BARBOLINA Anna and 藤代節 (eds.) (2001) The Collected Works. Ogdo Aksenova (Dolgan text, translations in Japanese and Russian with commentaries) CSEL 3.
- バスバヤル ムンフダラム (2022)「モンゴル語の存在文について—動詞 baj- と bij- を対象に—」 SHIGEN 18.
- バスバヤル ムンフダラム (2025)「現代モンゴル語の名詞型の場所語が要求する格とその意味—ömnö「南/前」、urd「南/前」を対象として—」 SHIGEN 20.

- ブガエワ アンナ (2003) Classification of Reciprocals and Sociatives in Ainu LNPR 9.
- ブガエワ アンナ (2004) 『アイヌ語千歳方言の文法と口承文芸―小田イトの個人語―』 ELPR A2-045.
- ブガエワ アンナ (2007) 「アイヌ語鶴川方言テキスト：新井田セイノさんの神謡」 LNPR 14.
- ブガエワ アンナ (2008) 「アイヌ語南北北海道方言における引用とロゴフォリック性」 LJSL 133.
- ブガエワ アンナ (2014) 「アイヌ語使役構文に関する再考察」 NLS 4.
- ブガエワ アンナ (2015) An equivalent of the standard of comparison relativization in Ainu JCNH 8.
- ブガエワ アンナ・佐藤知己 (2021) An Ainu Uwepeker Text by N.A. Nevskij NLS 11.
- ツェレンダブガ ボヤンジャルガル (2015) 「モンゴル語の移動動詞について―とくに直示移動動詞の観点から―」 SHIGEN 11.
- 蔡熙鏡 (2012) 「ニヴフ語における時の副動詞 (temporal converbs) について」 SHIGEN 8.
- 蔡熙鏡 (2013) 「ニヴフ語東サハリン方言の昔話テキスト：チハロシュとウサギ」 JCNH 7.
- 蔡熙鏡 (2014a) 「ニヴフ語の名詞化について」 SHIGEN 10.
- 蔡熙鏡 (2014b) 「ニヴフ語東サハリン方言の複数標識 -gun について」 JCNH 7.
- 蔡熙鏡 (2018) 「ニヴフ語東サハリン方言における指示語の非現場指示の用法について」 NLS 8.
- チュルンバートル セレンゲ (2007) 「モンゴル語の一人称代名詞 MAN について」 SHIGEN 3.
- 江畑冬生 (2004) 「サハ語 (ヤクート語) の二つの「複数接辞」」 TULIP 23.
- 江畑冬生 (2005) 「サハ語 (ヤクート語) の接尾辞付加における交替」 TULIP 24.
- 江畑冬生 (2007) 「サハ語 (ヤクート語) のクリティック」 AALL 2.
- 江畑冬生 (2012a) 「サハ語の所有を表す接尾辞-LEEx」 NLS 2.
- 江畑冬生 (2012b) 「ユーラシア北東部諸言語の所有を表す接辞の意味論と構文論―導入と総括―」 NLS 2.
- 江畑冬生 (2013a) 「サハ語(ヤクート語)の後置型連体修飾と数の一致」 TULIP 32.
- 江畑冬生 (2013b) 「サハ語の使役文と受動文：二重対格使役文と非人称受動文を中心に」 JCNH 6.
- 江畑冬生 (2013c) 「サハ語の動詞屈折形式とその統語機能」 NLS 3.
- 江畑冬生 (2013d) 「対事的モダリティ・対人的モダリティを表すサハ語の文末接辞」 NLS 3.
- 江畑冬生 (2014a) 「サハ語・トルコ語・トゥバ語の目的語格標示」 NLS 4.
- 江畑冬生 (2014b) 「北東ユーラシア諸言語の名詞項標示」 NLS 4.
- 江畑冬生 (2014c) 「ウロフスキによる最古のサハ語文の特徴」 JCNH 7.
- 江畑冬生 (2015) 「サハ語における肯定の対称性と否定を含む派生」 NLS 5.
- 江畑冬生 (2016) 「サハ語の再帰接辞・逆使役接辞・受身接辞」 NLS 6.
- 江畑冬生 (2017a) 「サハ語 (ヤクート語) の「双数」の解釈―聞き手の数からの分析―」 LJSL 151.
- 江畑冬生 (2017b) 「トゥバ語との対照から明らかになるサハ語の規則性と義務性」 NLS 7.
- 江畑冬生 (2018) 「トゥバ語の再帰」 NLS 8.
- 江畑冬生 (2019a) Regularity and Obligatoriness in Sakha (Yakut): A Contrastive Analysis with Tyvan AALL 13.
- 江畑冬生 (2019b) 「トゥバ語の証拠性を表すとされる接辞-dir: 話し手・聞き手の認識からの説明」 NLS 9.
- 江畑冬生 (2020a) Agglutinateness, Polysynthesis, and Syntactic Derivation in Northeastern Eurasian Languages NLS 10.
- 江畑冬生 (2020b) 『サハ語文法』 勉誠出版
- 江畑冬生 (2022) 「チュルク語北東語群の接辞頭子音交替」 NLS 12.
- 遠藤史 (1997a) Basic Vocabulary of Kolyma Yukaghir LNPR 2.
- 遠藤史 (1997b) 「ユカギール語コリマ方言の非定形動詞について」 LNPR 3.
- 遠藤史 (2001a) Additional Basic Vocabulary of Kolyma Yukaghir LNPR 6.
- 遠藤史 (2001b) 「コリマ・ユカギール語における指示転換的現象について」 LNPR 7.
- 遠藤史 (2005) 『コリマ・ユカギール語の輪郭：フィールドから見る構造と類型』 三恵社
- 遠藤史 (2010) 「コリマ・ユカギール語の複合名詞とその類型論の位置づけ」 LNPR 15.
- 遠藤史 (2012) 「コリマ・ユカギール語の複合名詞をめぐって」 JCNH 5.
- 遠藤史 (2017) 「コリマ・ユカギール語の引用構文とその発達」 JCNH 10.
- エンフアムガラン オノン (2020) 「現代モンゴル語の相互表現」 SHIGEN 16.
- エンフアムガラン オノン (2025) 「現代モンゴル語の相互代名詞」 SHIGEN 20.
- ファイズエワ ザリナ (2022) 「タジク語とウズベク語の補助動詞の対照研究―タジク語サマルカンド方言

- に着目して」 SHIGEN 18.
- 藤代節 (1997)「ドルガン語訳新約聖書『マルコによる福音書』—紹介と翻訳語彙についての予備的考察—」 LNPR 3.
- 福盛貴弘 (2010)「トルコ語のアクセントについて」 LJS 137.
- 外賀葵 (2018)「ドゥンシャン語の民話「マンガス婆さん」の1つのバリエーション」 NLS 8.
- 外賀葵 (2021)「阻害音の実態から見るモンゴル語アラシヤ方言のモンゴル諸語における位置づけ」 NLS 11.
- 羽生田真由 (2017)「ウズベク語における接尾辞 *-di* の未来を表す機能について」 SHIGEN 13.
- 橋本邦彦 (1993)「過去時の領域—モンゴル語の過去形接尾辞の意味について—」 LJS 104.
- 橋本直樹 (2016)「トルコ語対格の出現条件」 SHIGEN 12.
- 橋本直樹 (2019)「トルコ語の補助動詞 *-(y) Iver* について」 SHIGEN 15.
- 早田清冷 (2008)「満州語の動詞 *ili-*「立つ」と *naka-*「やめる」について」 TULIP 27.
- 早田清冷 (2009)「満洲語の *bi* と *bimbi* について」 TULIP 28.
- 早田清冷 (2012)『満文三國志』満洲語における三人称代名詞の単数形と複数形について」 TULIP 31.
- 早田清冷 (2015)「古典満洲語の「同格の属格」について」 LJS 147.
- 早田清冷 (2018)「満洲語属格標識の *ni* という綴りについて」 TULIP 39.
- 早田輝洋 (2004)「一人称代名詞の包括形・除外形の体系—『崇禎本金瓶梅』に於ける〈俺〉〈我們〉〈咱〉とその満洲語訳—」 LJS 125.
- 早田輝洋 (2015)「満洲語の多様な形態素 *-ngge* の文法的位置付け」 LJS 148.
- 日高晋介 (2010)「ウズベク語の補助動詞構造《完了副動詞 (動詞語幹 *-(i)b*) + *ket-*, *qol-*, *qoy-*》について」 SHIGEN 6.
- 日高晋介 (2013a)「日本語「テオク」とウズベク語 *-(i)b qo'y-*の対照」 SHIGEN 9.
- 日高晋介 (2013b)「ウズベク語の *-(i)b* 副動詞の機能について」 SHIGEN 9.
- 日高晋介 (2014)「ウズベク語の動作名詞について」 SHIGEN 10.
- 日高晋介 (2017)「ウズベク語の過去形動詞+処格を用いた条件用法」 SHIGEN 13.
- 日高晋介 (2018)「ウズベク語における形動詞・動名詞の統語機能—連体修飾に着目して—」 NLS 8.
- 日高晋介 (2023)「ウズベク語における小詞 *-chi* の機能」 NLS 13.
- 日高晋介 (2025)「ウズベク語における時間的連続と条件を表す節連結の意味的連続性」 SHIGEN 20.
- 菱山湧人 (2018)「タタール語の形動詞を含む複合述語構文における主語人称標示」 SHIGEN 14.
- 菱山湧人 (2019)「タタール語における「あるにはある」表現」 SHIGEN 15.
- 菱山湧人 (2020a)「チュヴァシ語の所有文における所有接辞について」 SHIGEN 16.
- 菱山湧人 (2020b)「タタール語の非動詞述語文における主語人称標示」 NLS 10.
- 菱山湧人 (2021)「チュヴァシ語の名詞化接辞 *-i-ə* の節名詞化機能について」 NLS 11.
- 菱山湧人 (2022)「チュヴァシ語における *h*/始まりの異形態と *h*/始まりの異形態の交替について」 NLS 12.
- 菱山湧人 (2023)「チュヴァシ語の否定辞 *mar* を含む修飾構造と派生構造」 NLS 13.
- ホリロ (2019)「モンゴル語オラド方言の副動詞接辞 *-sAAr* の機能について」 SHIGEN 15.
- ホリロ (2021)「モンゴル語オラド方言の小辞 *-jAA* について—とりたての観点から—」 SHIGEN 17.
- ホリロ (2022)「モンゴル語オラド方言の副動詞接尾辞 *-jAA* について」 NLS 12.
- ホリロ (2023)「モンゴル語オラド方言のテキスト：日常会話を題材にした基本文例集」 NLS 特別号.
- 林徹 (2008)「トルコ語指示詞 *şu* の特徴」 TULIP 27.
- 林徹 (2009)「トルコ語指示詞の選択における話者の判断のばらつき」 TULIP 28.
- 林徹 (2012)「現代トルコ語における“*o*”系列指示詞の特徴について：直示用法を中心に」 TULIP 31.
- 林徹 (2016a)「トルコ語の非人称受身について：テンス・アスペクト・モダリティ形式との相互影響」 TULIP 35.
- 林徹 (2016b)「トルコ語指示詞における非文脈指示用法の再検討」 TULIP 35.
- 林徹 (2019)「トルコ語目的節の多義についての一考察」 TULIP 39.
- 林徹 (2024)「トルコ語の「傘を盗まれた」は使役か受動か：認知文法の観点から」 TULIP 45.
- 原明海 (2019)「サラール語における所有表現について」 SHIGEN 15.
- 池上二良 (1995) The Element *-n* in the Indicative Forms of Verbs in Tungus Languages LJS 107.
- 池上二良 (1997)「ナーナイ語のシカチ・アリヤン方言の無声唇摩擦音について」 LNPR 3.

- 池上二良 (2001) 「ウイльта語動詞活用大要」 LNPR 7.
- 池上二良 (2002a) 『増訂 ウイльта口頭文芸原文集 (ツングース言語文化論集 16)』 ELPR A2-013.
- 池上二良 (2003) 「ウイльта語の非人称完了動名詞否定形について」 LNPR 10.
- 池上二良 (2005) 「アイヌ語の itanki とツングース諸語の itaNgi」 LNPR 12.
- 池上二良 (2007) 『Сказания легенды народа уйльта (ウイльта口頭文芸原文集 [ロシア語逐語訳版])』 PTLC 38.
- 萩勲 (2014) 「シベ語テキスト―手延べ麺とシベ風パンの作り方―」 NLS 4.
- ジンガン (2007a) 「モンゴル語の終助詞に関する記述的研究」 SHIGEN 3.
- ジンガン (2007b) 「モンゴル語の終助詞 yum と日本語の「だ」「のだ」など文末形式の対照研究」 SHIGEN 3.
- ジンガン (2014) 「モンゴル語の接続詞 bögööd と mörtöö に関する一考察」 SHIGEN 10.
- 鍛冶広真 (2008) 「エウエン語における色彩に関する語彙」 TULIP 27.
- 鍛冶広真 (2012a) 「エウエン語の形態音韻論における数詞の特異性」 TULIP 31.
- 鍛冶広真 (2012b) 「エウエン語の所有を表す接尾辞 -lkAn」 NLS 2.
- 鍛冶広真 (2019) 「エウエン語における母音の挿入と脱落について」 TULIP 39.
- 鍛冶広真 (2023) 「接尾辞に基づいたエウエン語の品詞分類についての試論」 TULIP 44.
- 鍛冶広真・アクマタリエワ ジャクシルク・林徹 (eds.) (2015) 『キルギス語基礎語彙集 言語調査実習の報告』 CSEL 18.
- 加藤陽一郎 (2003) 「アイヌ語三石方言の基礎語彙」 LNPR 10.
- 加藤陽一郎 (2004) 「三石地方の漁撈―アイヌ語民俗語彙とテキスト―」 LNPR 11.
- 風間伸次郎 (1993) 『ナーナイ語テキスト』 PTLC 4.
- 風間伸次郎 (1995) 『ナーナイの民話と伝説』 PTLC 5.
- 風間伸次郎 (1996a) 『オロチ語基礎資料』 PTLC 7.
- 風間伸次郎 (1996b) 『ナーナイの民話と伝説 2』 PTLC 8.
- 風間伸次郎 (1996c) 『ウルチャ口承文芸原文集 1』 PTLC 9.
- 風間伸次郎 (1996d) 「ヘジェン語の系統的位罫について」 LJSL 109.
- 風間伸次郎 (1997a) 『ナーナイの民話と伝説 3』 PTLC 10.
- 風間伸次郎 (1997b) 「ツングース諸語における「部分格」」 LNPR 3.
- 風間伸次郎 (1998a) 『ナーナイの民話と伝説』 PTLC 12.
- 風間伸次郎 (1998b) Genetical Position of Hezhen LNPR 4.
- 風間伸次郎 (2000a) 『エウエンの歌』 PTLC 13.
- 風間伸次郎 (2000b) 『ナーナイの民話と伝説 5』 PTLC 14.
- 風間伸次郎 (2001a) 『ナーナイの民話と伝説 6』 PTLC 15.
- 風間伸次郎 (2001b) 「ツングース諸語における譲渡可能を示す接辞について」 LNPR 7.
- 風間伸次郎 (2001c) 『ナーナイの民話と伝説 6 (ツングース言語文化論集 15)』 ELPR A2-005.
- 風間伸次郎 (2002a) 「ツングース諸語における「使役」を示す形式について」 LNPR 8.
- 風間伸次郎 (2002b) 『ウルチャ 口承文芸原文集 2 (ツングース言語文化論集 20)』 ELPR A2-022.
- 風間伸次郎 (2002c) 『ナーナイの民話と伝説 7 (ツングース言語文化論集 18)』 ELPR A2-020.
- 風間伸次郎 (2002d) 『ネギダール語 テキストと文法概説 (ツングース言語文化論集 19)』 ELPR A2-021.
- 風間伸次郎 (2002e) 『ナーナイの民話と伝説 7』 PTLC 18.
- 風間伸次郎 (2003a) Contrasting “Altaic” Languages (Turkic, Mongolian and Tungusic Languages) with Special Reference to Noun Categories (Case) LNPR 9.
- 風間伸次郎 (2003b) 『ツングース諸語における基礎語彙(A)』 ELPR A2-037.
- 風間伸次郎 (2003c) 『エウエン語 テキストと文法概説 (ツングース言語文化論集 23)』 ELPR A2-030.
- 風間伸次郎 (2004a) 「ツングース諸語におけるⅢ群の形成について」 LNPR 11.
- 風間伸次郎 (2004b) 『ウデヘ語テキスト(A)』 PTLC 24/A.
- 風間伸次郎 (2004c) 『ウデヘ語テキスト(B)』 PTLC 24/B.
- 風間伸次郎 (2005a) 「ナーナイ語の疑問詞による反語表現について」 LNPR 12.
- 風間伸次郎 (2005b) 『ナーナイの民話と伝説 8』 PTLC 27.
- 風間伸次郎 (2006a) 『ウルチャ口承文芸原文集 3』 PTLC 30.
- 風間伸次郎 (2006b) 『ウデヘ語テキスト 2』 PTLC 31.

- 風間伸次郎 (2006c) 『ナーナイの民話と伝説 9』 PTLC 32.
- 風間伸次郎 (2006d) 「ナーナイ語コンドン方言テキスト」 LNPR 13.
- 風間伸次郎 (2007a) 「ウデヘ語の「複数」を示す要素について」 LNPR 14.
- 風間伸次郎 (2007b) 「ナーナイ語とウデヘ語の付属語について」 AALL 2.
- 風間伸次郎 (2007c) 『ウデヘ語テキスト 3』 PTLC 35.
- 風間伸次郎 (2007d) 『ナーナイの民話と伝説 10』 PTLC 36.
- 風間伸次郎 (2007e) 『ソロンの民話と伝説 1』 PTLC 37.
- 風間伸次郎 (2008a) 『清文彙書—翻字再配列版—』 PTLC 39.
- 風間伸次郎 (2008b) 『ナーナイの民話と伝説 11』 PTLC 40.
- 風間伸次郎 (2008c) 『ソロンの民話と伝説 2』 PTLC 41.
- 風間伸次郎 (2008d) 『ウデヘ語テキスト 4』 PTLC 42.
- 風間伸次郎 (2008e) 『ウルチャロ承文芸原文集 4』 PTLC 43.
- 風間伸次郎 (2009a) 「ナーナイ語の非人称形動詞について」 AALL 4.
- 風間伸次郎 (2009b) 『ウデヘ語テキスト 5』 PTLC 44.
- 風間伸次郎 (2009c) 『エウエン語テキスト 2(A)』 PTLC 45/A.
- 風間伸次郎 (2009d) 『エウエン語テキスト 2(B)』 PTLC 45/B.
- 風間伸次郎 (2010a) 『ウデヘ語テキスト 6』 PTLC 47.
- 風間伸次郎 (2010b) 『ナーナイ語テキスト 12』 PTLC 48.
- 風間伸次郎 (2010c) 『ウルチャロ承文芸原文集 5』 PTLC 49.
- 風間伸次郎 (2010d) 「ツングース諸語における接近音について」 LNPR 15.
- 風間伸次郎 (2010e) 「ツングース諸語における統合度について」 LNPR 15.
- 風間伸次郎 (2010f) 「ツングース語の接辞-ča について」 AALL 5.
- 風間伸次郎 (2011) 「ナーナイ語の複文について：条件形式の使い分けを中心として」 NLS 1.
- 風間伸次郎 (2012a) 『ナーナイ語テキスト 13』 PTLC 53.
- 風間伸次郎 (2012b) 『ナーナイ語諸方言の研究』 PTLC 54.
- 風間伸次郎 (2012c) 「ウイльта語調査報告」 JCNH 5.
- 風間伸次郎 (2012d) 「アルタイ型言語における準動詞と言いさしについて」 NLS 2.
- 風間伸次郎 (2013a) 「アルタイ型言語における感情述語」 JCNH 6.
- 風間伸次郎 (2013b) 「対照言語学的観点からみた相対テンスについて—日本語及びアルタイ諸言語における形動詞を用いた従属節の分析—」 NLS 3.
- 風間伸次郎 (2013c) 『エウエンの民話』 PTLC 56.
- 風間伸次郎 (2013d) 『ナーナイ語諸方言の研究 2』 PTLC 57.
- 風間伸次郎 (2014a) The verbals and insubordination in Altaic-type languages AALL 8.
- 風間伸次郎 (2014b) 「日本語の類型について—「アルタイ型言語」の解明を目指して—」 NLS 4.
- 風間伸次郎 (2015a) 「エウエン語ブイストラヤ方言の概説とテキスト」 NLS 5.
- 風間伸次郎 (2015b) 「ダグール語の語彙におけるツングース諸語との共通要素について」 JCNH 8.
- 風間伸次郎 (2015c) 『ナーナイの文化と生活 1』 PTLC 60.
- 風間伸次郎 (2016a) 『エウエン語ブイストラヤ方言テキスト 1』 PTLC 62.
- 風間伸次郎 (2016b) Tuvan Texts JCNH 9.
- 風間伸次郎 (2016c) 「地域的・類型論的観点からみた無生物主語について」 NLS 6.
- 風間伸次郎 (2017a) 「アルタイ型言語における主要部内在型関係節について」 JCNH 10.
- 風間伸次郎 (2017b) 「条件と継起の連続性について—疑似条件形式を中心として—」 NLS 7.
- 風間伸次郎 (2018a) 「アルタイ諸言語と朝鮮語、日本語におけるいわゆる「再帰代名詞」の対照研究」 NLS 8.
- 風間伸次郎 (2018b) 『ソロンの文化と生活 1』 PTLC 64.
- 風間伸次郎 (2018c) 『エウエン語ブイストラヤ方言テキスト 2』 PTLC 65.
- 風間伸次郎 (2019a) On the Internally Headed Relative Clause in Altaic-type Languages AALL 13.
- 風間伸次郎 (2019b) 「アルタイ諸言語の場所表現における名詞的性格について」 NLS 9.
- 風間伸次郎 (2020a) 「アルタイ型言語の語順特性およびそれと内的関連性を持つ諸特徴について」 NLS 10.
- 風間伸次郎 (2020b) 『エウエン語ブイストラヤ方言テキスト 3』 PTLC 66.

- 風間伸次郎 (2020c) 『ソロンの文化と生活 2』 PTLC 67.
 風間伸次郎 (2021a) 「アルタイ型言語における「補助動詞」の分布について」 NLS 11.
 風間伸次郎 (2021b) 『ナナイ語諸方言の研究 3』 PTLC 68.
 風間伸次郎 (2022a) 「東北アジアの諸言語を中心とする証拠性に関する対照研究」 NLS 12.
 風間伸次郎 (2022b) 『エウエン語アルカ方言の研究』 PTLC 69.
 風間伸次郎 (2022c) 『ソロンの文化と生活 3』 PTLC 70.
 風間伸次郎 (2022d) 「ウデヘ語文法」 SHIGEN 18.
 風間伸次郎 (2023a) 「アルタイ型言語の再帰表現について」 NLS 13.
 風間伸次郎 (2023b) Nanai. In *The Tungusic Languages* 364-406. Routledge.
 風間伸次郎 (2023c) Oroch. In *The Tungusic Languages* 294-325. Routledge.
 風間伸次郎 (2023d) Ulcha. In *The Tungusic Languages* 407-435. Routledge.
 風間伸次郎 (2024) 『モンゴルの動物・生き物の物語』 PALC 3.
 風間伸次郎・バイカル (2023) 『ソロンの文化と生活 4』 PTLC 72.
 風間伸次郎・バイカル (2024) 『ソロンの文化と生活 5』 PTLC 73.
 風間伸次郎・バイカル (2025) 『ソロンの文化と生活 6』 PTLC 74.
 風間伸次郎・バイカル (2026) 『ソロンの文化と生活 7』 PTLC 75.
 風間伸次郎・菱山湧人 (2020) 『チュヴァシ語の言語と文化 1』 PALC 1.
 風間伸次郎・トヤー (2007) 『ソロンの民話と伝説 1』 PTLC 37.
 風間伸次郎・トヤー (2008) 『ソロンの民話と伝説 2』 PTLC 41.
 風間伸次郎・トヤー (2011) 『ソロン語基礎語彙』 PTLC 52.
 風間伸次郎・山田洋平 (2020) 『ダグールの言語と文化 1』 PALC 2.
 風間伸次郎・山田洋平 (2026) 『土族語民話集成 1』 PALC 4.
 木村滋雄 (2001) 「シベ語の複数接尾辞 -s について」 LNPR 7.
 木村滋雄 (2002) 「シベ語のピッチアクセントについて」 LNPR 8.
 木村滋雄 (2003) 「シベ語の助数詞について」 LNPR 10.
 木村滋雄 (2004) 「シベ語の数量詞遊離について」 LNPR 11.
 木村滋雄 (2005) 「シベ語の名詞接尾辞 -ni について」 LNPR 12.
 切替英雄 (2006) 「アイヌ語の 1 を示す数詞」 LJSL 129.
 切替英雄 (2007) 「アイヌの地理的認識と上 (かみ) と下 (しも)」 LNPR 14.
 切替英雄 (2017) 「アイヌ語の作意の見えない言語形式」 JCNH 10.
 岸本宜久 (2016) 「アイヌ語沙流方言における動詞の助動詞用法と制約」 JCNH 9.
 喜多直人 (2020) 「アイヌ語 (沙流方言) の所属形名詞が表す全体 - 部分関係」 TULIP 40.
 児倉徳和 (2009) 「シベ語の補助動詞 *ila-* について」 TULIP 28.
 児倉徳和 (2010) 「シベ語の動詞 *o-* について」 LNPR 15.
 児倉徳和 (2012) 「シベ語の動詞接尾辞 -mi, -Xe, -mahei について : アスペクトと時間ダイクシスの体系」 TULIP 31.
 児倉徳和 (2013) 「シベ語の三つの動詞完了形 -Xe, -Xeje, -Xe の機能と節の階層—なぜ -Xe のみが連体用法を持つのか?—」 NLS 3.
 児倉徳和 (2018) 『シベ語のモダリティの研究』 勉誠出版
 児倉徳和 (2019a) Finiteness in Sibe: Aspects of Finiteness and Historical Development AALL 13.
 児倉徳和 (2019b) 「シベ語における「非現実」と知識管理」 TULIP 39.
 児倉徳和 (2021) Sibe Text: Dancing of Sibe People NLS 11.
 児倉徳和 (2022) A Narrative Text from the Family Problems Picture Task: Sibe (SJO) AALL 16.
 久保智之 (1997) Reduplication Meduplication in Khalkha Mongolian LJSL 112.
 久保智之 (ed.) (2008) 『シベ語語彙集』 CSEL 12.
 呉人恵 (2000) Argument-Modifying Type of Diminutive/Augmentative Suffixes in Koryak LNPR 5.
 呉人恵 (2001a) Noun Incorporation in Koryak LNPR 6.
 呉人恵 (2001b) 「コリャーク語の出名動詞と名詞抱合」 LNPR 7.
 呉人恵 (ed.) (2001c) 『コリャーク語民話テキスト カワヒメマスとカレイ』 ELPR A2-004.

- 呉人恵 (ed.) (2001d) 『チュクチ・カムチャツカ語族 比較基礎語彙集 : 1』 ELPA2-011.
- 呉人恵 (2002) 『コリヤーク民話「ワタリガラス」』 (タチヤーナ・ユーリエヴナ・エルモリンスカヤ編) ELPA2-018.
- 呉人恵 (2003a) 'Possessive' and 'Relational' in Koryak Viewed from the Animacy Hierarchy LNPR 9.
- 呉人恵 (2003b) A Report on Koryak Phonology LNPR 9.
- 呉人恵 (2003c) 『危機言語を救え』 大修館書店
- 呉人恵 (2004) 「コリヤークにおける家畜トナカイ名称とその変容」 LNPR 11.
- 呉人恵 (2005) 「タイゴノス半島のコリヤーク語の方言的位置づけ」 LNPR 12.
- 呉人恵 (2008) 「分詞および関係詞によるコリヤーク語関係節の相補的形成」 JCNH 1.
- 呉人恵 (2009) 『コリヤーク言語民族誌』 北海道大学図書刊行会
- 呉人恵 (2010a) 「コリヤーク語の属性叙述—主題化のメカニズムを中心に—」 LJS1 138.
- 呉人恵 (2010b) 「時間的安定性から見たコリヤーク語の形容詞事象叙述文」 LNPR 15.
- 呉人恵 (2011a) 「コリヤーク語の名詞化：動作主・被動作主名詞の意味とシンタクス」 NLS 1.
- 呉人恵 (2012a) 「チュクチ・カムチャツカ語族における属性叙述—N 形の意味・機能の異同に着目して—」 NLS 2.
- 呉人恵 (2012b) Adverbial Clauses in Koryak: Degrees of Subordination and the Five Levels JCNH 5.
- 呉人恵 (2013a) 「コリヤーク語の形態的・統語的能格性：動詞の一致と節連接を中心に」 JCNH 6.
- 呉人恵 (2013b) 「コリヤーク語動詞の自他対応—中立型か他動詞化型か—」 NLS 3.
- 呉人恵 (2014a) 「コリヤーク語における S=A 交替」 JCNH 7.
- 呉人恵 (2014b) 「コリヤーク語における動作名詞と動作主・被動作主名詞—名詞化の度合いに着目して—」 NLS 4.
- 呉人恵 (2015) 「コリヤーク語の複統合性—抱合と接辞の折衷タイプ—」 NLS 5.
- 呉人恵 (2016a) 『コリアキ土人調査書』 解題と翻刻 JCNH 9.
- 呉人恵 (2016b) 「コリヤーク語の副詞節—名詞化タイプと非名詞化タイプ—」 NLS 6.
- 呉人恵 (2017a) 「コリヤーク語の「形動詞」の機能：「動作者名詞」との比較を通して」 JCNH 10.
- 呉人恵 (2017b) 「コリヤーク語の動詞 GE 形とイテリメン語の K-KNEN 形—形動詞性をめぐる比較—」 NLS 7.
- 呉人恵 (2018) 「コリヤーク語における人称コピュラとコピュラ動詞のスイッチング」 NLS 8.
- 呉人恵 (2019) 「コリヤーク語の与格名詞をめぐる諸現象について—充当相, S=A 交替, 授与動詞—」 NLS 9.
- 呉人恵 (2020) 「コリヤーク語の複統合性再考—その「新しさ」と人称スロットの特異性をめぐって—」 NLS 10.
- 呉人恵 (2021) 「コリヤーク語のデキゴトを表わす名詞的用法」 NLS 11.
- 呉人恵 (2023) 「コリヤーク語の不定詞と副動詞を兼務する形式について」 NLS 13.
- 呉人徳司 (1997) 「チュクチ語の自動詞・他動詞の形態的対応」 LNPR 3.
- 呉人徳司 (1998) A Report on Noun Incorporation in Chukchi. LNPR 4.
- 呉人徳司 (2001a) 「チュクチ語の否定表現について」 LNPR 7.
- 呉人徳司 (2001b) On Lexical Affixes in Chukchi. LNPR 6.
- 呉人徳司 (2005) 「チュクチ語における借用語について」 LNPR 12.
- 呉人徳司 (2009) 「チュクチ語の結合価の変更について」 AALL 4.
- 呉人徳司 (2019) 「チュクチ語における使役について—強制の度合いの差異と形態統語的ふるまいの相関性—」 NLS 9.
- 呉人徳司・呉人恵 (2014) 『探検言語学』 北海道大学図書刊行会
- 栗林均 (2002) 『『元朝秘史』と『華夷訳語』における与位格接尾辞の書き分け規則について』 LJS1 121.
- 栗林裕 (2006) 「トルコ語の複合動詞と文法化」 AALL 1.
- 栗林裕 (2009) 『チュルク語南西グループの構造と記述』 CSEL 15.
- 栗林裕 (2013) Transitivity in Turkish—A study of valence orientation AALL 7.
- 李林静 (2011) 「ホジェン語インタビューテキスト(1)—お産について—」 NLS 1.
- 李林静 (2012) 「ホジェン語の会話テキスト(1)」 NLS 2.
- 李林静 (2014) 「ホジェン語の動詞屈折形式とその統語機能」 NLS 4.

- 李林静 (2015a) 「ホジェン語会話テキスト(4)」 JCNH 8.
 李林静 (2015b) 「ホジェン語会話テキスト(5)―洪水について―」 NLS 5.
 李林静 (2016) 「ホジェン語会話テキスト(6)」 NLS 6.
 李林静 (2018) 「ヘジェン語テキスト(16)―何淑珍氏、尤文蘭氏による会話 2015 年夏の出来事(1)―」 NLS 8.
 李林静 (2019) 「ヘジェン語テキスト(17)―民話意地悪な兄嫁―」 NLS 9.
 李林静 (2020) 「ヘジェン語における二つのアスペクト形式-mibi-と-rebi-について」 NLS 10.
 李林静 (2023) 「ヘジェン語テキスト(21)―何淑珍氏、尤文蘭氏による自然談話―」 NLS 13.
 伶艶 (2015) 「モンゴル語の存在・コピュラ動詞のテンス・ムード用法について―日本語のムードの「タ」との対照を通して―」 NLS 5.
 松本克己 (1998) 「ユーラシアにおける母音調和の二つのタイプ」 LJSJ 114.
 馬長城 (2021) 「アイヌ語沙流方言の助動詞「a」の用法について：中国語の「過」から見たタクシス機能」 JCNH 14.
 森貝聡恵 (2015) 「ウイルト語における形動詞能動形の交替とゆれ」 NLS 5.
 森貝聡恵 (2016a) 「ウイルト語北方方言テキスト：「冬、父が私を連れ戻した」」 JCNH 9.
 森貝聡恵 (2016b) 「ウイルト語形動詞の修飾用法と名詞用法について」 SHIGEN 12.
 村崎恭子 (2001a) 『改訂浅井タケ昔話全集』 ELPA2-010.
 村崎恭子 (2001b) 『少数民族言語資料の記録と保存―樺太アイヌ語とニヴフ語―』 ELPA2-009.
 村崎恭子 (2001c) 『CD-ROM 版 浅井タケ昔話全集』(峰岸真琴 CD-ROM 編集) ELPA2-007.
 長崎郁 (2003) 「コリマ・ユカギール語の S=A タイプの自他対応について」 LNPR 10.
 長崎郁 (2004) 『コリマ・ユカギール語例文付き語彙集』 ELPA2-044.
 長崎郁 (2005) 「コリマ・ユカギールの民話テキスト(3)―A.G.シャドリナの「ピエテル・ベルベキン」―」 LNPR 12.
 長崎郁 (2007) 「コリマ・ユカギール語の倚辞について」 AALL 2.
 長崎郁 (2009) 『コリマ・ユカギール語の記述研究―形態論を中心に―』千葉大学大学院社会文化科学研究科提出の学位論文
 長崎郁 (2010) 「コリマ・ユカギール語の関係節における 3 種類の分詞」 LNPR 15.
 長崎郁 (2011) 「コリマ・ユカギールの民話テキスト(4)：A.V.スレブツォワの「エルシェネイ」」 NLS 1.
 長崎郁 (2012) 「コリマ・ユカギール語の所有を表す接尾辞-n' e/-n'」 NLS 2.
 長崎郁 (2013a) 「コリマ・ユカギール語の動詞屈折形式―分詞の統語機能と形態―」 NLS 3.
 長崎郁 (2013b) 「東アジア接尾辞型諸言語における動詞屈折形式：分詞に関する問題を中心に―導入と総括―」 NLS 3.
 長崎郁 (2014a) Relative clauses in Kolyma Yukaghir AALL 8.
 長崎郁 (2014b) 「コリマ・ユカギール語における名詞項標示」 NLS 4.
 長崎郁 (2015a) 「コリマ・ユカギール語における否定と他動性」 NLS 5.
 長崎郁 (2015b) 「北東ユーラシア諸言語における否定構造」 NLS 5.
 長崎郁 (2015c) 「コリマ川上流地域のユカギール語資料 [ロシア語]」 MSL 1.
 長崎郁 (2016) 「コリマ・ユカギール語の非定形節における能格性」 NLS 6.
 長崎郁 (2018) The Focus Construction in Early Modern Kolyma Yukaghir LJSJ 154.
 長崎郁 (2021) 「コリマ・ユカギール語の Supine：統語機能と言語接触」 NLS 11.
 長崎郁 (2022) 「コリマ・ユカギール語の「迂言的過去」」 NLS 12.
 長崎郁 (2023a) Kolyma Yukaghir Texts MSL 8.
 長崎郁 (2023b) 「北東シベリア諸言語の数詞における加法の表現」 NLS 13.
 永山ゆかり (2002) 「アリュートル語の関係形容詞と所有形容詞」 LNPR 8.
 永山ゆかり (2003) 『コリヤークの民話「ふしぎななわ」』(呉人恵 序文) ELPA2-035.
 永山ゆかり (2004) 「アリュートル語の所有・存在を表わす形式について」 LNPR 11.
 永山ゆかり (2005) 「クトクニャクとケガニ：アリュートル語テキスト」 LNPR 12.
 永山ゆかり (2006) 「パラスのチュクチ・コリヤーク語彙」 LNPR 13.
 永山ゆかり (2007) 「コリヤーク語ミキノ方言テキスト：聞きわけのない子供たち」 LNPR 14.
 永山ゆかり (2010) 「アリュートル語テキスト：アンニャックの話ほか」 LNPR 15.

- 永山ゆかり (2012a) 「アリュートル語の所有を表す2つの接辞」 NLS 2.
- 永山ゆかり (2012b) 「アリュートル語の分詞に関する予備的考察：テキストの用例から」 JCNH 5.
- 永山ゆかり (2014a) *Verbal Charms of the Alutor in Kamchatka: Tradition, Practice, and Transmission* JCNH 7.
- 永山ゆかり (2014b) 「アリュートル語の名詞項標示」 NLS 4.
- 永山ゆかり (2015a) 「アリュートル語における肯否の非対称性」 NLS 5.
- 永山ゆかり (2015b) 「アリュートル語資料 [ロシア語]」 MSL 2.
- 永山ゆかり (2020) 「アリュートル語資料2 [ロシア語]」 MSL 7.
- 永山ゆかり (2023) 「ヌムラン語・ロシア語辞典 (アリュートル方言) 2 補遺 [露文]」.
- 永山ゆかり, E. P. Pronina, V. R. Dedyk, and L. I. Chechulina (eds.) (2024a) *Materials on the Languages of Nymylans and Koryaks 1. Mikino, Karaga, Chawchu Dialects* MSL 9.
- 永山ゆかり, E. P. Pronina, V. R. Dedyk, and L. I. Chechulina (eds.) (2024b) *Materials on the Languages of Nymylans and Koryaks 2. Alutor Dialect* MSL 10.
- 永山ゆかり, Vladimir Nutayulgin, and Lidiya Chechulina (eds.) (2017) 「ヌムラン語・ロシア語辞典 (アリュートル語方言) 1 [ロシア語による]」 MSL 3.
- 永山ゆかり, Vladimir Nutayulgin, and Lidiya Chechulina (eds.) (2019) *ヌムラン語・ロシア語辞典 (アリュートル語方言) 2 [ロシア語]* MSL 5.
- 内藤遼 (2019) 「ウズベク語における後置詞 *bilan* を用いた時を表す従属節について」 SHIGEN 15.
- 中川裕 (1995) 「アイヌ語研究の現状と問題点」 LJSL 108.
- 中川裕 (2010) 「アイヌ語動詞の複数・多回性標識 *pa* と *ci*」 TULIP 29.
- 中川裕 (2011) 「アイヌの神謡における叙述者の人称」 NLS 1.
- ナムダグ ハグバジャブ (2020) 「モンゴル語ハルハ方言における接尾辞 *-ja* の意味機能について—コーパスに基づく研究—」 SHIGEN 16.
- ナムダグ ハグバジャブ (2022) 「現代モンゴル語の副動詞を反復する従属節における主語と目的語の単複」 NLS 12.
- ナムダグ ハグバジャブ (2025) 「モンゴル語の副動詞に後続する3人称所有小詞 *n'* について」 SHIGEN 20.
- 娜仁托娅 (2011) 「モンゴル語の小辞 *mini, cini, ni, cu, le, bol* に関する考察：取り立ての観点から」 NLS 1.
- 那日蘇 (2021) 「モンゴル語の第3人称所属語尾 *ni* の「対比」について—日本語の「は」との対照を通して—」 NLS 11.
- 西岡いずみ (2003) *Come and Go in Modern Uyghur* LNPR 9.
- 新田志穂 (2015) 「現代ウイグル語の接辞 *-IK* について」 NLS 5.
- 落合いずみ (2021) 「アイヌ語の数詞再考：二十進法における下方算法から上方算法への切り替え」 NLS 11.
- 落合いずみ (2023) 「『蝦夷国報告書』のアイヌ語数詞における上位起算法の消失」 NLS 13.
- 岡田唯 (2016) 「トルコ語における与格／奪格支配動詞」 SHIGEN 12.
- 奥田統己 (2003) 『アイヌ語静内方言の音声資料—田村すず子採録 織田ステノさんと虎尾ハルさんの口頭文芸と会話』 (林誠、田村すず子共編) ELPR A2-032.
- 小野智香子 (2002) 『イテリメン語北部方言 語彙・会話例文集』 (呉人恵 序文) ELPR A2-029.
- 小野智香子 (2003a) *Itelmen Verb Stem: Morphological Features and Syntactic Structure of Intransitive and Transitive* LNPR 9.
- 小野智香子 (2003b) 「イテリメン語北部方言基礎語彙調査報告(追補)」 LNPR 10.
- 小野智香子 (2004) 「イテリメン語の両唇軟口蓋音について」 LNPR 11.
- 小野智香子 (2005) 「イテリメン語テキスト1」 LNPR 12.
- 小野智香子 (2006) 「イテリメン語の動詞語幹の分類とその派生法」 LNPR 13.
- 小野智香子 (2007) 「イテリメン語の不定詞」 LNPR 14.
- 小野智香子 (2010) 「イテリメン語テキスト4」 LNPR 15.
- 小野智香子 (2011) 「イテリメン語の動詞人称接尾辞の機能について」 NLS 1.
- 小野智香子 (2013) 「イテリメン語の形動詞に関する考察」 NLS 3.
- 小野智香子 (2015) 「イテリメン語の否定の構造」 NLS 5.
- 小野智香子 (2020) *ITEL' MENSKE SKAZKII RASSKAZY IZ SEDANKI-OSEDLOI* [ロシア語による] MSL 6.

- 小野智香子 (2021) 『イテリメン語文法—動詞形態論を中心に—』札幌：北海学園大学出版会
- 小野洋平 (2017) 「計量多次元尺度構成法の有効性と限界—アイヌ語を例として—」 NLS 7.
- 小野洋平 (2019) Observations on “Northeastern” Hokkaido Ainu Dialects: A Statistical Perspective NLS 9.
- 小野洋平 (2020a) How to Handle “Missing Values” in Linguistic Typology: A Pitfall in the Statistical Modelling Approach NLS 10.
- 小野洋平 (2020b) Reconsideration of “Major Division” of Ainu Dialects: A Statistical Reanalysis of Asai (1974) NLS 10.
- 小野洋平 (2022) Statistical Remarks on Classification of Ainu Dialects: Lexicostatistics Revisited NLS 12.
- 小野洋平・深澤美香 (2023) 「アイヌ語諸方言の語形の類似に関する基礎データの復元—論文に書ききれなかった研究者の判断・思考に迫る—」 NLS 13.
- 大崎紀子 (2006) 『チュルク語・モンゴル語の使役と受動の研究 —キルギス語と中期モンゴル語を中心として—』京都大学提出の博士論文
- 大竹昌巳 (2015) 「契丹小字文献における母音の長さの書き分け」 LJSL 148.
- 大竹昌巳 (2024) 「契丹語の音調」 LJSL 165.
- 敖特根其其格 (2005) 「ウデヘ語の漢語借用語について」 LNPR 12.
- 阪口諒 (2019a) 「アイヌ語樺太西海岸南部方言テキスト(1)—「カワウソのばけもの」—」 NLS 9.
- 阪口諒 (2019b) 「山本多助筆録アイヌ語樺太方言テキスト(1)—「カラフト・ウベベケレ (オブケネワイコロ ウベベケレ)」—」 JCNH 12.
- 阪口諒 (2020a) 「アイヌ語樺太方言における *utara* の用法」 NLS 10.
- 阪口諒 (2020b) 「アイヌ語樺太方言における名詞複数接尾辞: *ahcin* の用法」 JCNH 13.
- 阪口諒 (2021) 『『アイヌ語ロシア語辞典』のアイヌ語話者に関する情報」 JCNH 14.
- 阪口諒 (2022) 「アイヌ語樺太方言における数詞と計算」 JCNH 15.
- 佐藤知己 (2001) 「再びアイヌ語の有音休止について」 LNPR 7.
- 佐藤知己 (ed.) (2002) 『アイヌ語諸方言調査報告(1)』 ELPR A2-014.
- 佐藤知己 (2008a) 「アイヌ語千歳方言における合成名詞の構造」 JCNH 1.
- 佐藤知己 (2008b) 『アイヌ語文法の基礎』東京：大学書林.
- 佐藤知己 (2012a) 「アイヌ語の現状と復興」 LJSL 142.
- 佐藤知己 (2012b) 「池上二良先生のアイヌ語研究」 JCNH 5.
- 佐藤知己 (2017) 「江戸時代のアイヌ語彙集「狄さへつり」について」 JCNH 10.
- 佐藤知己 (2020) 「アイヌ語における文法的カテゴリーの転換について—語と句、動詞と名詞の相互関係をめぐって—」 NLS 10.
- 佐藤知己 (2021) 「アイヌ語千歳方言の位置名詞 *or* の用法」 NLS 11.
- 佐藤知己 (2023) 「アイヌ語の動詞の結合価と3項動詞」 JCNH 16.
- 佐藤知己・ブガエワ アンナ (2019) The Study of Old Documents of Hokkaido and Kuril Ainu: Promise and Challenges NLS 9.
- 佐藤知己・ブガエワ アンナ (2022) An Ainu Upaskuma Text by N.A. Nevskij NLS 12.
- 渋谷ときは (2016) 「鄂倫春語の指小指大表現について」 SHIGEN 12.
- 白石英才 (2002) 『ニヴフ語音声資料 1—V. アキリャーク=イヴァノーヴァの民話—』(ガリーナ・ローク編、中川裕 序文) ELPR A2-015.
- 白石英才 (2003a) Phonologically Driven Allomorphy of Nivkh Transitive Verbs – With Implications for the Nature of Prefix *i*- LNPR 9.
- 白石英才 (2003b) 『ニヴフ語音声資料 2—アムール方言の民話と歌謡—』(ガリーナ・D. ローク編、中川裕 序文) ELPR A2-036.
- 白石英才 (2004) 「アイヌ語沙流方言の昔話—上田トシのウエベケレ 3—」 LNPR 11.
- 白石英才 (2005) 「ニヴフ語西サハリン方言の民話 1」 LNPR 12.
- 白石英才 (2010) 「ソノリティから見たニヴフ語の子音連続」 LNPR 15.
- 白石英才 (2013) Phonologically conditioned allomorphy in Nivkh AALL 7.
- 白石英才・丹菊逸治 (2013) 「ニヴフ語アムール方言の基礎語彙」 NLS 3.
- 白石英才・丹菊逸治 (2014) 「ニヴフ語アムール方言の基礎語彙 2」 NLS 4.
- 白石英才・丹菊逸治 (2015) 「ニヴフ語アムール方言の基礎語彙 3」 NLS 5.

- 白石英才, et al. (2007) 「北東アジアの諸言語にかんする注釈つき年代別文献リスト」 LNPR 14.
- 斯欽格日樂 (2008) 「モンゴル語の補助動詞構造《V-(gul)-CVB ög-》、《V-(gul)-CVB ab-》について」 SHIGEN 4.
- 斯欽格日樂 (2014) 「モンゴル語の補助動詞《oru-》の機能について」 SHIGEN 10.
- 庄垣内正弘 (2003) 「文献研究と言語学—ウイグル語における漢字音の再構と漢文訓読の可能性—」 LJSL 124.
- 菅原睦 (2007) 『ウイグル文字本『聖者伝』の研究 I. 序論と転写テキスト』 CSEL 10.
- 菅原睦 (2008) 『ウイグル文字本『聖者伝』の研究 II. 日本語訳および註』 CSEL 11.
- 菅沼健太郎 (2023) Reconsidering the Constraint-based Analysis of Kyrgyz Manner Alternation NLS 13.
- 菅沼健太郎 (2024) 『カラチャイ語エスキシヒル方言調査報告書』 CSEL 25.
- 菅沼健太郎・AKMATALIEVA, Jaksylyk (2022) 「キルギス語の/r/連続における/l/の交替の再解釈」 NLS 12.
- 鈴木唯 (2020) Causal-Noncausal Verb Pairs in Gagauz TULIP 42.
- 鈴木唯 (2021) Prosody of Iterative Infixal Ludlings in Turkish AALL 15.
- 鈴木唯 (2025) 「トルコ語における名詞の重複と複数行為性」 LJSL 167.
- SYURYUN, Arzhaana・児倉徳和 (2022a) A Tuvan Text: A Journey to Tokyo 2020 AALL 16.
- SYURYUN, Arzhaana・児倉徳和 (2022b) Tuvan Text: Döj-Höözüük NLS 12.
- 高橋靖以 (2006) 「アイヌ語十勝方言の進行相を表す形式 kor an について」 LNPR 13.
- 高橋靖以 (2007) 「アイヌ語十勝方言テキスト: 「ヤナギの神」と「ヨタカ」」 LNPR 14.
- 高橋靖以 (2008) 「アイヌ語厚別方言の基礎語彙」 JCNH 1.
- 高橋靖以 (2011) 「アイヌ語十勝方言の指示表現」 NLS 1.
- 高橋靖以 (2013) 「アイヌ語十勝方言における証拠性と叙述類型」 NLS 3.
- 高橋靖以 (2014) 「アイヌ語十勝方言における名詞化節の脱従属節化」 NLS 4.
- 高橋靖以 (2015) 「アイヌ語十勝方言における1人称と包括人称について」 NLS 5.
- 高橋靖以 (2016) 「アイヌ語十勝方言の否定構造について」 NLS 6.
- 高橋靖以 (2017) 「アイヌ語幌別方言の使役接尾辞について」 NLS 7.
- 高橋靖以 (2018) 「アイヌ語幌別方言における名詞化辞の文法化」 NLS 8.
- 武内康則 (2016) 「契丹語の複数接尾辞について」 LJSL 149.
- 田村すず子 (ed.) (2001) 『アイヌ語沙流方言の音声資料 1 近藤鏡二郎の録音テープに遺されたワテケさんの神謡』 ELPR A2-008.
- 田村すず子 (ed.) (2002) 『アイヌ語沙流方言の音声資料 2 近藤鏡二郎の録音テープに遺されたワテケさんの神謡 II』 ELPR A2-016.
- 田村すず子 (ed.) (2003a) 『アイヌ語沙流方言の音声資料 3 近藤鏡二郎の録音テープに遺されたワテケさんの神謡 III』 ELPR A2-034.
- 田村すず子 (2003b) Endangered Language Fieldwork, Documentation and Publication: Lessons from the Experience of a Field Linguist LNPR 9.
- 丹菊逸治 (2002) 「ニヴフ語の魚名と漁労語彙(1)」 LNPR 8.
- 丹菊逸治 (2008) 『ニヴフ語サハリン方言基礎語彙集 (ノグリキ周辺地域)』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- 丹菊逸治 (2012) 「ニヴフ語の複数表示: ポロナISK方言の-gunの特殊用法」 JCNH 5.
- 丹菊逸治 (2013) 『ニヴフ語サハリン方言語彙集』 北海道大学アイヌ・先住民研究センター
- 津曲敏郎 (1996) 「中国・ロシアのツングース諸語」 LJSL 110.
- 津曲敏郎 (1997) 「ニヴフ語, ウイルタ語, アイヌ語の名詞並列構造」 LNPR 3.
- 津曲敏郎 (2001a) 「1人称複数代名詞の除外/包括性について: 満洲語文語の用例をもとに」 NLS 7.
- 津曲敏郎 (2001b) Preliminary Remarks on an Udehe Autobiographical Text: with a Sample of Shamanistic Episodes LNPR 6.
- 津曲敏郎 (2002a) 『ウデヘ語自伝テキスト (ツングース言語文化論集 17)』 (アレクサンドル・カンチュガ著) ELPR A2-019.
- 津曲敏郎 (2002b) An Udihe Folktale Text: “Solomo and Tausima” JCNH 5.
- 津曲敏郎 (2002c) 『ウデヘ語自伝テキスト』 PTLC 17.

- 津曲敏郎 (2003a) 『ウデヘ語読本 自伝：少年時代』 PTLC 22.
- 津曲敏郎 (編著) (2003b) 『北のことば フィールドノート』 北海道大学図書刊行会
- 津曲敏郎 (2004) 『ウデへの二つの昔話 タルメニとセレメニ／チョウセンニンジン掘りの若者』 PTLC 26.
- 津曲敏郎 (2005) 『ウデヘ語自伝テキスト2：青年時代』 PTLC 28.
- 津曲敏郎 (2006a) 『ウデヘ語自伝テキスト3：学生時代』 PTLC 29.
- 津曲敏郎 (2006b) 『ウデヘ語自伝テキスト4：妻ファヤの思い出』 PTLC 33.
- 津曲敏郎 (2006c) 「満洲語格標識の形態論的位置づけ：語か接辞か？」 LNPR 13.
- 津曲敏郎 (2007) 『ウデヘ語自伝テキスト5：狩猟物語』 PTLC 34.
- 津曲敏郎 (2009) 『星の王子様 [ウデヘ語・ロシア語対訳版]』 PTLC 46.
- 津曲敏郎 (2010a) 『ウデヘ語自伝テキスト2：青年時代[日本語対訳版]』 PTLC 50.
- 津曲敏郎 (2010b) 『ウデヘ語自伝テキスト6：挾妻と鞅鞢 ウデへの祖先[ウデヘ語・ロシア語版]』 PTLC 51.
- 津曲敏郎 (2010c) Long Journey of Walrus: a Linguistic Survey JCNH 3.
- 津曲敏郎 (2010d) 「ウイルタ語文例」 LNPR 15.
- 津曲敏郎 (2011) 「ウデヘ語民話テキスト：『ソロモとタシウマ』 (英文)」 JCNH 4
- 津曲敏郎 (2012) 「満洲語学の展開：池上先生の残したもの」 JCNH 5.
- 津曲敏郎 (2013) 『ウデヘ語自伝テキスト7：渤海 ツングースの最初の国家[ウデヘ語・ロシア語版]』 PTLC 55.
- 津曲敏郎 (2014a) Remarks on the Uilta folktale text collected by B. Pilsudski JCNH 7.
- 津曲敏郎 (2014b) 「ピウスツキ採集のウイルタ語民話テキスト「ネズミの母親とカエルの母親」 NLS 4.
- 津曲敏郎 (2015) 『ウデヘ語自伝テキスト8-1：人生は続く(1)』 (ウデヘ語・ロシア語版) PTLC 59.
- 津曲敏郎 (2016a) 「文法調査票に基づくウデヘ語例文」 NLS 6.
- 津曲敏郎 (2016b) 『ウデヘ語自伝テキスト8-2：人生は続く(2)』 (ウデヘ語・ロシア語版) PTLC 63.
- 津曲敏郎・山田祥子 (2023). Uilta. In *The Tungusic Languages* 436-462. Routledge.
- 植田尚樹 (2020) The Acoustic Realization of Preaspiration in Khalkha Mongolian NLS 10.
- 植田尚樹 (2021) The Merger between /o/ and /o/ in Khalkha Mongolian: A Study Based on an Acoustic Analysis and a Perceptual Experiment NLS 11.
- 植田尚樹 (2022) The Phonetic and Phonological Characteristics of Liquids in Khalkha Mongolian NLS 12.
- 梅谷博之 (2004) 「モンゴル語の alga 「ない」 について」 TULIP 23.
- 梅谷博之 (2008) 「モンゴル語の使役接辞 -UUL と受身接辞 -GD の意味と構文」 東京大学提出の博士論文
- 梅谷博之 (2012) 「モンゴル語の所有を表す接辞」 NLS 2.
- 梅谷博之 (2017) 「モンゴル語の副動詞語尾-tal の後に現れる接尾辞-x に関する覚え書き」 NLS 7.
- 梅谷博之 (2019a) Demarcation between Converbs and What Are Not Converbs in Mongolian: Focusing on Combinations of a Verbal-nominal Suffix and a Case Suffix AALL 13.
- 梅谷博之 (2019b) 「モンゴル語の出動名詞派生接辞 -lt：句への付加」 TULIP 39.
- 王海波 (2011) 「満洲語三家子方言における母音調和の存在に関する考察」 NLS 1.
- 王海波 (2012) 「満洲語三家子方言の使役構文における被使役者に関する考察」 TULIP 31.
- 王海波 (2020a) 「満洲古典語とシベ方言における軟口蓋音と口蓋垂音」 TULIP 42.
- 王海波 (2020b) 「満洲語現代方言における母音調和」 NLS 10.
- 王海波 (2021a) 「満洲語現代方言の強勢とピッチについて」 NLS 11.
- 王海波 (2021b) 「満洲語における硬口蓋化と逆硬口蓋化」 TULIP 41.
- 王海波 (2022) 「満洲語シベ方言の語頭における [jɪ] と [ʔi]」 TULIP 43.
- 山田祥子 (2007) 「ウイルタ語後置文の機能論分析」 LNPR 14.
- 文花・白音門徳・山田洋平・風間伸次郎 (2026) 『土族語研究 1』 PALC 5.
- 山田祥子 (2010a) 「ウイルタ語北方言に見られる動詞語尾-li について」 LNPR 15.
- 山田祥子 (2010b) A Preliminary Study of Language Contacts around Uilta in Sakhalin JCNH 3.
- 山田祥子 (2011) 「ウイルタ語北方言テキスト：スルクタの作り方」 NLS 1.
- 山田祥子 (2012a) 「ウイルタの振楽器「ヨードブ」：復元工程についてのウイルタ語北方言テキストを中心に」 JCNH 5.
- 山田祥子 (2012b) 「ウイルタ語北方言テキスト：ありがとう、池上先生」 JCNH 5.
- 山田祥子 (2013) 『ウイルタ語北方言の文法と言語接触に関する研究』 北海道大学提出の博士論文

- 山田祥子 (2014) 『ウイльта長編英雄物語 ニグマーシーグーニ物語テキスト』 PTLC 58.
- 山田祥子 (2015) 「ウイльта語北方方言テキスト：人喰いお化けの話」 NLS 5.
- 山田祥子 (2016a) 「ギシクタウダ（マリーヤ・ミヘエワ）の生涯—ウイльта語北方方言テキスト—」 NLS 6.
- 山田祥子 (2016b) 『星の王子様 [ウイльта語・ロシア語対訳版]』 PTLC 61.
- 山田祥子 (2017) 「ウイльта語北方方言の音韻的・形態的特長：南方方言との相違点を中心に」 JCNH 10.
- 山田祥子 (2023) 『エウエンキー語音声資料』 PTLC 71.
- 山田洋平 (2007) 「アイヌ語北海道諸方言における神話の人称」 SHIGEN 3.
- 山田洋平 (2011) 「ハイラル・ダグール語の述語複合体」 SHIGEN 7.
- 山田洋平 (2014) 「モンゴル語の形動詞接辞 *-gɯ* 一時的な使用実態から」 SHIGEN 10.
- 山田洋平 (2015) 「モンゴル語内モンゴル諸方言に見られる “否定+*lee*” 形式—漢語の “了” との対照から—」 SHIGEN 11.
- 山田洋平 (2017) 「ダグール語の終助詞」 NLS 7.
- 山田洋平 (2019) 「モンゴル語の動詞形式-*xAAr* 一節連結の意味とその形態的特徴から」 SHIGEN 20.
- 山田洋平 (2021) 「モンゴル語の半母音 *j* で終わる語の奪格形」 SHIGEN 17.
- 山越康裕 (2001) 「モンゴル語の名詞-動詞型複合動詞」 NLS 7.
- 山越康裕 (2002) 「シネヘン・ブリヤート語テキスト」 LNPR 8.
- 山越康裕 (2003a) 「シネヘン・ブリヤート語音韻体系概説」 LNPR 10.
- 山越康裕 (2003b) 「モンゴル語の複数接尾辞と名詞句階層」 LJSL 124.
- 山越康裕 (2003c) 「内モンゴル北部におけるモンゴル系諸言語比較基本語彙」 LNPR 10.
- 山越康裕 (2004) 「モンゴル諸語の ‘particle’ について—シネヘン・ブリヤート語の事例から—」 LNPR 11.
- 山越康裕 (2005) 「シネヘン・ブリヤート語の借用に見られる諸特徴について」 LNPR 12.
- 山越康裕 (2006) 「シネヘン・ブリヤート語テキスト：日常会話を題材にした基本文例集」 LNPR 13.
- 山越康裕 (2007a) 「シネヘン・ブリヤート語の clitic」 AALL 2.
- 山越康裕 (2007b) 「ハムニガン・モンゴル語テキスト：日常会話を題材にした基本文例集」 LNPR 14.
- 山越康裕 (2008) 「品詞分類のありかた：シネヘン・ブリヤート語の事例から」 AALL 3.
- 山越康裕 (2010) 「ハムニガン・エヴェンキ語とハムニガン・モンゴル語の所有構造」 LNPR 15.
- 山越康裕 (2011) 「シネヘン・ブリヤート語の人称所有小詞」 NLS 1.
- 山越康裕 (2012a) Three Folktales in Shinekhen Buryat AALL 6.
- 山越康裕 (2012b) 「シネヘン・ブリヤート語の「形動詞」」 JCNH 5.
- 山越康裕 (2013) 「ブリヤート語の「分詞」の機能について—屈折的形容詞化と位置づけられるか—」 NLS 3.
- 山越康裕 (2014a) 『『元朝秘史』モンゴル語における人称代名詞属格形：ハムニガン・モンゴル語の譲渡可能性との関連から』 NLS 4.
- 山越康裕 (2014b) 「シネヘン・ブリヤート語テキスト(4)：テネグ・タリブほか2編」 NLS 4.
- 山越康裕 (2015) 「モンゴル語ホルチン方言テキスト：日常会話を題材にした基本文例集」 NLS 5.
- 山越康裕 (2016) 「シネヘン・ブリヤート語テキスト(5)：王様と役人になる二人の男の子」 NLS 6.
- 山越康裕 (2017) 「シネヘン・ブリヤート語の2種類の未来表現：分詞の定動詞化に関する3類型」 JCNH 10.
- 山越康裕 (2021) A Basic Vocabulary of Khorchin Mongolian AALL 15.
- 山越康裕 (2022) A Shinekhen Buryat Text: Foals with Golden Breast and Silver Buttocks AALL 16.
- 山越康裕 (2024) A Shinekhen Buryat Text *Teekheljeekhen Khubuun (The Boy Called “Teekheljeekhen”) AALL 18.
- 山越康裕 (2025) Shinekhen Buryat Texts Three Narratives Classified as “Domog” (en) AALL 19.
- 山崎雅人 (2018) 「満洲語文語の従属節属格主語の機能について」 NLS 8.
- 山崎雅人 (2019) 「満洲語文語における従属節属格主語に関連する文脈について」 NLS 9.
- 山崎雅人 (2020) 「満洲語文語の従属節対格主語の照応機能について」 NLS 10.
- 吉川佳見 (2020) 「アイヌ語における「完了」表現があらわす証拠性」 NLS 10.
- 吉村大樹 (2020) On Future ‘Finite’ Participles in Azerbaijani AALL 14.

(かざま・しんじろう kazama@tufs.ac.jp)